Enjoy Concerts! Music Program TOKYO

©Yasuhisa Yoneda

ゴンサロ・ルバルカバ

ジャズとクラシックを縦横に駆け巡る小曽根真と、
キューバ出身のジャズ・ピアニスト、
ゴンサロ・ルバルカバが共演!
2台ピアノによる協奏曲や、
2人によるジャズ・セッションをお届けします。

小曽根真 &

©Yow Kobayashi

“Jazz meets Classic” with 東京都交響楽団

Makoto Ozone & Gonzalo Rubalcaba “Jazz meets Classic” with Tokyo Metropolitan Symphony Orchestra

ピアノ：小曽根 真 Piano: Makoto Ozone
ピアノ：ゴンサロ・ルバルカバ Piano: Gonzalo Rubalcaba
打楽器：安藤芳広※（東京都交響楽団 首席ティンパニ奏者） Yoshihiro Ando
Percussion 小林巨明※（東京都交響楽団 打楽器奏者） Naoaki Kobayashi
指　揮：角田鋼亮※ Conductor: Kosuke Tsunoda
管弦楽：東京都交響楽団※ Tokyo Metropolitan Symphony Orchestra
※第1部のみ Part1 only

©Rikimaru Hotta

©武藤章

第1部 Part1
バルトーク:ルーマニア民俗舞曲 Bartók:Romanian Folk Dances, BB 76
バルトーク:2台のピアノと打楽器のための協奏曲 Bartók:Concerto for 2 Pianos, Percussion and Orchestra, BB 121

第2部 Part2
ジャズ・セッション　小曽根 真×ゴンサロ・ルバルカバ Jazz session Ozone × Rubalcaba

東京文化会館 Tokyo Bunka Kaikan

2016年（平成28年）10月1日（土）17:00 開演（16:20 開場）
東京文化会館 大ホール
Tokyo Bunka Kaikan Main Hall

10月2日（日）15:00 開演（14:20 開場）
オリンパスホール八王子
Olympus Hall Hachioji

料金（共通）　S席5,000円　A席4,000円　B席3,000円　25歳以下1,000円 ※要証明書　4月22日（金）発売

主催：東京都／東京文化会館・アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）
Organizers: Tokyo Metropolitan Government/Tokyo Bunka Kaikan・Arts Council Tokyo (Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture)
共催：公益財団法人八王子市学園都市文化ふれあい財団（オリンパスホール八王子公演）
Cosponsored by Hachioji College Community & Culture Fureai Foundation

ARTS COUNCIL TOKYO
CULTURE & TOKYO

Music Program TOKYO

パキート・デリベラ、アルトゥーロ・サンドヴァル、ブランフォード・マルサリス…「Jazz meets Classic with 東京都交響楽団」で過去、小曽根真が招いたゲストにはいつも驚かされてきたが、しかし今回はまた格別だ。ゴンサロ・ルバルカバ。現代キューバを代表する国宝級ピアニストの登場である。
広範なジャンルを自在に往来する、という意味では共通するスタンスを持つ小曽根とゴンサロだが、そんな彼らが選んだのはバルトークの〈2台のピアノと打楽器のための協奏曲〉。ピアノという楽器の打楽器的側面と、時に静謐とさえ呼びたい響きの美を見事に共存させたこの作品は、“歌と躍動”と併せ持つこの2人にまさにうってつけ。これまで見出し得なかったこの曲の新たな魅力を我々に教えてくれるはずだ。さらに第2部は、ピアノ・デュオによるジャズ・セッションというからたまらない。両者の個性のぶつかりあいと調和から生まれる音楽は、必ずや未体験の刺激を提供してくれるに違いない。

藤本史昭（音楽ライター）

©大杉隼平

小曽根 真（ピアノ）
Makoto Ozone, Piano

1983年バークリー音楽大学ジャズ作・編曲科を首席で卒業。同年米CBSと日本人初のレコード専属契約を結び、アルバム「OZONE」で全世界デビュー。2003年にグラミー賞にノミネート。以来、ソロ・ライブをはじめゲイリー・バートン、ブランフォード・マルサリス、パキート・デリベラなど世界中のトッププレイヤーとの共演や、自身のビッグ・バンド「No Name Horses」を率いて、ジャズの最前線で活躍を続けている。また、クラシックにも本格的に取り組み、国内外の主要オーケストラと、バーンスタイン、モーツァルト、プロコフィエフ、ラフマニノフなどの協奏曲の演奏でも大きな注目を集めている。2014年にはニューヨーク・フィルのソリストに抜擢され、韓国、日本、ニューヨーク公演で共演。また、サンフランシスコ交響楽団にも招かれるなど、米国でも躍進を遂げている。近年は、作・編曲にも力を注ぎ、クリエイティブなオリジナル作品を次々と生み出している。
オフィシャル・サイト http://makotoozone.com/

©Mario Garcia Joya

ゴンサロ・ルバルカバ（ピアノ）
Gonzalo Rubalcaba, Piano

1963年、革命後のハバナ生まれ。才能に溢れる、モダンジャズ界を代表するアーティストである。ハバナのインスティテュート・オブ・ファイン・アーツ作曲科を卒業。10代半ばにはジャズ・クラブ等でドラマーやピアニストとしても活躍し、大学卒業後はポピュラー・ミュージシャンの世界へ身を投じる。1985年にディジー・ガレスピー、1986年にはブルーノート・レコードのブルース・ランドヴォール社長と運命的な出会いを果たし、これを端に91年はドミニカ共和国へ、96年にはマイアミへと活動の拠点を移した。海外レコーディングした一連の作品は東芝EMIおよびブルーノート・レコードからリリースされ、過去14年で4度グラミー賞を受賞。ノミネートに至っては15回を記録している。レパートリーは「正統派」ジャズからビー・バップ、アフロキューバン・ジャズ、そしてキューバやメキシコの伝統的なバラード、ボレロまで広がりを見せ、今ではキューバの古典的な作品にまで及んでいる。ルバルカバの芸術は常に進化し、アフロキューバンの伝統からインスピレーションを受け続けている。www.g-rubalcaba.com

©武藤章

角田鋼亮（指揮）
Kosuke Tsunoda, Conductor

東京藝術大学大学院指揮科ならびにベルリン音楽大学国家演奏家資格課程修了。2006年第3回ドイツ全音楽大学・指揮コンクールで最高位を獲得。2008年第4回カラヤン生誕100周年記念の同コンクール第2位。2010年第3回グスタフ・マーラー国際指揮コンクールにて最後の6人に残る。これまでに、コンチェルトハウス・オーケストラ・ベルリン、ブランデンブルグ交響楽団、上海歌劇院管弦楽団、東京都交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、京都市交響楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢等と共演している。セントラル愛知交響楽団指揮者。2016年4月より大阪フィルハーモニー交響楽団指揮者に就任。いま日本で最も期待される若手指揮者の一人として、活躍の場を拡げている。

東京都交響楽団（管弦楽）
Tokyo Metropolitan Symphony Orchestra

東京オリンピックの記念文化事業として1965年東京都が設立（略称:都響）。2015年に創立50周年を迎え、現在、大野和士が音楽監督、小泉和裕が終身名誉指揮者、エリアフ・インバルが桂冠指揮者、ヤクブ・フルシャが首席客演指揮者を務める。定期演奏会などを中心に、小中学生への音楽鑑賞教室（約60回／年）、青少年への音楽普及プログラム、多摩・島しょ地域での訪問演奏、ハンディキャップを持つ方のための「ふれあいコンサート」や福祉施設での出張演奏など、多彩な活動を展開。《首都東京の音楽大使》として、これまで欧米やアジアで公演を成功させ、国際的な評価を得ている。2015年11月にはベルリン、ウィーンなど5ヶ国6都市をめぐるヨーロッパツアー（指揮:音楽監督・大野和士）を行い、細川俊夫の委嘱新作などを演奏し、いずれも熱烈な喝采を浴びた。受賞歴に、「第6回京都音楽賞大賞」受賞、インバル指揮「ショスタコーヴィチ:交響曲第4番」でレコード・アカデミー賞〈交響曲部門〉（第50回）、「インバル=都響 新・マーラー・ツィクルス」での〈特別部門:特別賞〉（第53回）など。
オフィシャル・サイト　http://www.tmso.or.jp

小曽根 真ワークショップ「自分で見つける音楽Vol.4」

9月21日(水) 19:00開講　会場:東京文化会館 小ホール
参加料:一般1,500円／25歳以下1,000円（全席自由）
発売日:4月22日(金)　・都響ガイドでのチケット取扱いはありません。

©青柳聡

Music Program TOKYO

世界的な芸術文化都市東京として、音楽文化の活性化を目指し、「創造性」と「参加性」を柱とした多様な事業を年間を通して一体的に展開する音楽プログラムです。クラシック音楽を基軸にしつつ、様々な分野のアーティストや文化施設等と連携して多彩なコンサートを実施する《Enjoy Concerts!》、海外の教育普及機関などと連携した《Music Education Program》を開催することで、東京の音楽文化に刺激を与え、世界に向け発信していきます。

チケットのお申込み

東京文化会館チケットサービス　03-5685-0650　4月22日（金）発売

都響ガイド 03-3822-0727　　イープラス http://eplus.jp/t-bunka/
ローソンチケット 0570-000-407 [Lコード:31489]
チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード:295-017]

※25歳以下は東京文化会館チケットサービス、八王子のみ取扱い。
※未就学児の入場はご遠慮ください。
※やむを得ない事情により、内容を変更又は中止する場合がございますので予めご了承ください。

10/2公演のみ

<販売窓口>（9:00～19:00　※発売初日10:00～）
オリンパスホール八王子　042-655-0809　　いちょうホール　042-621-3001
南大沢文化会館　042-679-2202　　八王子学園都市センター　042-646-5611
<電話予約>（公財）八王子市学園都市文化ふれあい財団　042-621-3005（9:00～17:00　※発売初日13:00～）

【お問合せ】　東京文化会館 事業企画課　　電話:03-3828-2111（代表）　　www.t-bunka.jp　　Twitter: @tbunka_official